

平成21年11月10日

各位

会社名 株式会社 池田泉州ホールディングス
 代表者名 取締役社長兼CEO 服部 盛隆
 コード番号 8714 (東証・大証第1部)
 問合せ先 企画部 統括部長 田原 彰
 (TEL. 06-4802-0013)

当社子会社の業績見込み等について

当社子会社の株式会社泉州銀行(本店:大阪府岸和田市、取締役頭取 吉田 憲正)の平成22年3月期第2四半期累計期間(平成21年4月1日~平成21年9月30日)の業績見込み並びに平成22年3月期第2四半期末における有価証券の含み損について下記のとおりお知らせします。

1. 平成22年3月期第2四半期累計期間の業績見込み(平成21年4月1日~平成21年9月30日)

<単体ベース>

(単位:百万円)

	21年9月期 見込み	20年9月期 実績	増減	(参考:5月公表) 21年9月期 予想	増減率 (%)
業務純益	3,280	3,501	△221	2,750	19.2
株式関係損益	240	809	△569		
うち減損処理(△)	40	752	△712		
不良債権処理損失(△)	980	2,950	△1,970	1,750	△44.0
経常利益	2,180	1,052	1,128	750	190.6
中間純利益	260	475	△215	400	△35.0
与信関連費用(取立益含む)	520	3,825	△3,305	1,750	△70.2

<連結ベース>

(単位:百万円)

	21年9月期 見込み	20年9月期 実績	増減	(参考:5月公表) 21年9月期 予想	増減率
経常利益	2,090	601	1,489	450	364.4
中間純利益	△400	290	△690	250	—

単体の業務純益は、貸出金や有価証券の利回りの低下により前年9月期に比べ減少しますが、不良債権処理損失の減少により、経常利益は21億80百万円となる見込みであります。なお、中間純利益は、統合関連費用の計上や繰延税金資産の取崩しにより2億60百万円となる見込みであります。

連結ベースでは、一部子会社の繰延税金資産の取崩しを行ったことにより、4億円の間接純損失となる見通しであります。

※当社(池田泉州ホールディングス)の平成22年3月期業績予想につきましては、11月13日に予定している決算発表時に公表する予定です。

(ご参考)

<単体ベース>

(単位：億円)

	21年9月期見込み	20年9月期実績	増減
預金残高	19,146	18,022	1,124
うち個人預金	16,067	15,338	729
貸出金残高	17,503	16,473	1,030
うち住宅ローン	11,973	10,887	1,086
自己資本比率	10%程度	10.31%	
有価証券含み損益 (その他目的)	△59	△87	28
リスク管理債権残高	304	352	△48
リスク管理債権比率	1.7%	2.1%	△0.4%

2. 有価証券の含み損

株式会社泉州銀行の保有する「満期保有目的の債券」及び「関連会社株式」のうち、時価を合理的に算定できるものについて、平成22年3月期第2四半期末における有価証券の含み損を算出いたしました結果、その総額が下記のとおりになりましたのでお知らせいたします。

(A) 平成22年3月期第2四半期末の有価証券含み損の総額	2,547百万円
(B) 最近5事業年度平均の経常利益額 (A/B×100)	5,981百万円 (42.6%)
(C) 最近5事業年度平均の当期純利益額 (A/C×100)	6,720百万円 (37.9%)

※ 平成22年3月期第2四半期末の有価証券含み損の総額は、単体・連結とも同額であります。なお、最近5事業年度平均の経常利益額・当期純利益額に対する割合は、単体ベースで記載しております。

(注) 1 「満期保有目的の債券」及び「関連会社株式」のうち、時価を合理的に算定できるものの全てを対象としています。

2 対象有価証券の帳簿価額 30,998百万円
時 価 28,451百万円

(ご参考)

- 1 当行の第2四半期末は、9月30日であります。
- 2 平成22年3月期第2四半期末における有価証券の含み益及び差引き含み益は以下のとおりであります。

(D) 平成22年3月期第2四半期末の有価証券含み益の総額	900百万円
(E) 平成22年3月期第2四半期末の有価証券差引き含み益の総額 (D-A)	△1,646百万円

以 上

問合せ先 株式会社 泉州銀行 経営企画部 072 (423) 7441
